

金光教教学研究所客殿、客殿付属舎、洋館



(写真提供: 浅口市教育委員会)

指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	こんこうきょうきょうがくけんきゅうしょきやくでん、きやくでんふぞくしゃ、ようかん
所在地	浅口市金光町大谷
登録年月日	平成30年11月2日
解説	昭和5年建設。金光町市街地南部の丘上にある迎賓施設。客殿は敷地中央に西面して建つ。入母屋造の四周に下屋を廻し、内部は中廊下を通して座敷4室を設ける。近代の設計手法と伝統木造技術が高度に調和した昭和期和風建築の好例を示す。客殿西面に玄関を兼ねる客殿付属舎、西面南側に寄棟造の二階建て塔屋付きの洋館が渡廊下を介してつながっており、格調高い和洋館併設の面構えを形づくる。
アクセス方法	[車]JR山陽本線金光駅南口から約5分 [公共交通]JR金光駅北口から徒歩約20分
公開状況	非公開
設備	駐車場 
備考	

## きつずページ



(写真提供: 浅口市教育委員会)

していくぶん (指定区分)	国登録有形文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	金光教教学研究所客殿、客殿付属舎、洋館
よみかた	こんこうきょうきょうがくけんきゅうしょきやく でん、きやくでんふぞくしゃ、ようかん
しょざいち (所在地)	浅口市金光町大谷
とうろくしたひ (登録した日)	平成30年11月2日
せつめい	金光町市街地南側の丘の上に、昭和5年(1930)に建てられた客を迎えるために使われた施設です。客殿は近代の設計手法に伝統木造技術を用いて建てられた和風建築で、その西側には二階建てで、屋上に突き出た小屋(塔屋)を持つ洋館があります。客殿と洋館は渡廊下でつながっています。